

1 自己評価

I 評価結果

- 1 学習指導の改善・生徒の自己管理支援【B】 2 的確な生徒指導及び支援【B】
 3 社会性の向上・自主的・主体的な活動の促進【B】 4 進路指導の充実【B】 5 適切な情報公開【B】

B：当初の見込みどおりの取組を行うことができ、ほぼ目標どおりの達成状況である。

II 分析・改善方策

1 新課程科目の研究を通して学習指導の改善を図る。学習状況を通知・確認する手段の研究を進め、生徒の自己管理を支援する手段の充実を図る。

- ・新教育課程への移行と時程変更、多面的な視点で作成した時間割や学校行事の計画、郵便法改正など、教員間で協議を重ね、着実に対応した。学校自己評価アンケート（以下、「アンケート」という。）「教育課程編成の十分な協議」82%（R2 65%）、「通信教育の特長を生かす教育課程編成」68%（R2 52%）の教員が「当てはまる」と回答している。
- ・時宜を得た郵送物の発送、ホームページの適宜更新、「学習状況の通知」発送、ホワイトボードを利用した生徒連絡、Google アカウントの活用など、自分で進捗を確認しながら学習を進めることができるよう情報提供を行った。次年度も、ホームページの活用を促進するなど、通信教育実施計画及び本校の教育についての情報公開を適切に実施する。
- ・郵送物での指導だけでなく、学習が順調でない生徒には個別に対応するなど、単位修得に向けた支援を行った。
- ・アンケートでの生徒の肯定回答「自ら学び自ら考える姿勢が身に付いた」89%（R2 90%）、「学習の進め方がわかりやすく示されている」97%（R2 95%）、「添削指導はわかりやすく、一人で理解できなかった点も良く理解できる」90%（R2 86%）といずれも高評価を維持している。本校の指導が生徒の自学自習を促す指導となっている。

2 保護者や、中学校、前籍校との連携により得た生徒情報を校内で共有し、的確な生徒指導及び支援を行うことで、基本的生活習慣を確立させ、いじめ等の問題行動の早期発見と早期解決を図る。

- ・思春期サポート事業として、SCによるカウンセリングやケース会議を実施した。SSWも全ケース会議に参加し、SCとは違う視点から方向性を示していただいた。教員間の共通理解のもと生徒の対応を考えることができた。
- ・今年度受講生の情報収集、整理・保管、共有化を行い、支援に活かせる体制が整備できた。突発的なトラブルの対応の際にも、事前に得られている情報が活かされるような体制づくりを進めている。
- ・突発的なトラブルの対応の際にも、事前に得られている生徒情報が活かされるような体制づくりを引き続き進める。

3 ルールやマナーを尊重する指導等により社会性の向上を図るとともに、生徒会活動や特別活動等における自主的・主体的な活動の促進を図る。

- ・定期的に校内を巡回した。駐車や喫煙のマナー違反があったが、立て看板等で呼びかけたところ、漸減している。
- ・学校行事の企画・運営において、生徒会執行部が活躍する場面が多くあった。生徒会活動時間への出席率も高く、安心して発言できる場となっている。学校行事などで、生徒が企画運営する場を意識的に増やしていきたい。
- ・アンケートでは生徒の肯定回答「学校行事に積極的に参加している」66%（R2 66%）、「部活動の活動内容や成績を知っている」55%（R2 53%）だった。参加を促す発信方法を工夫し、周知を図る必要がある。

4 「進路の手引」を有効に活用し、キャリア教育の視点を踏まえ、進路意識の高揚と希望に応じた進路指導の充実を図る。

- ・「進路相談の時間」を自主活動の時間に前期3回実施した。各年次でも個別の相談で対応した。就職希望者ガイダンスや集団面接合同練習会など実際の就職試験や入試に向けた試みも行った。後期の自主活動も、後期入学者の進路面談やキャリア・パスポート説明会などを企画した。生徒の実態に合わせた進学指導の在り方を、担当課だけでなく、各教科や年次と連携を図りながら検討する。
- ・「進路情報交換会」を実施し生徒の進路希望状況を把握するとともに、今後の進路指導に必要な情報を提供できた。
- ・アンケート「進路決定に必要な情報提供」では81%（R2 79%）の生徒の肯定回答だった。生徒に必要な情報は届いている。

5 生徒・保護者や一般の方から本課程への理解と協力が得られるように、学校HPや「操山通信」の充実を図ることで情報公開を適切に行う。

- ・年間を通して郵送物は円滑に発送できた。郵便法改正の対応として次年度の郵送計画を見直した。HPは、在校生、保護者、入学希望者など対象ごとに情報を更新した。入学希望者には、県が主催する進路相談会にすべてで参加し、進路相談や情報提供に努めた。学校説明を年8回実施し、希望があれば個別相談を受けるなど丁寧に説明した。
- ・機関紙「操山通信」は、生徒への確実な連絡ツールである。HPで見ることができるよう紙面にQRコードを表示したり、「卒業生表彰者」を掲載するなど、よりよい紙面づくりに努めた。生徒全員を対象にした調査では、「HPで『操山通信』を見られることを知っている」は87%（R2 85%）であった。
- ・アンケート「HPは学校生活に役立つ」では教員の74%（R2 57%）が当てはまると回答した。生徒は92%（R2 93%）である。「郵送物の情報提供は適切」では、97%（R2 97%）の生徒が肯定的な回答をしている。引き続き情報発信に努めたい。
- ・同窓会との連携は、適切に情報提供ができ、学校行事等の支援を得ることができている。

2 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

- 確実な学力の定着 ○キャリア教育の充実 ○安全で安心な学びの場づくり

(ホームページ掲載原稿)

令和3年度 学校自己評価アンケート (生徒)

学校評価アンケート結果

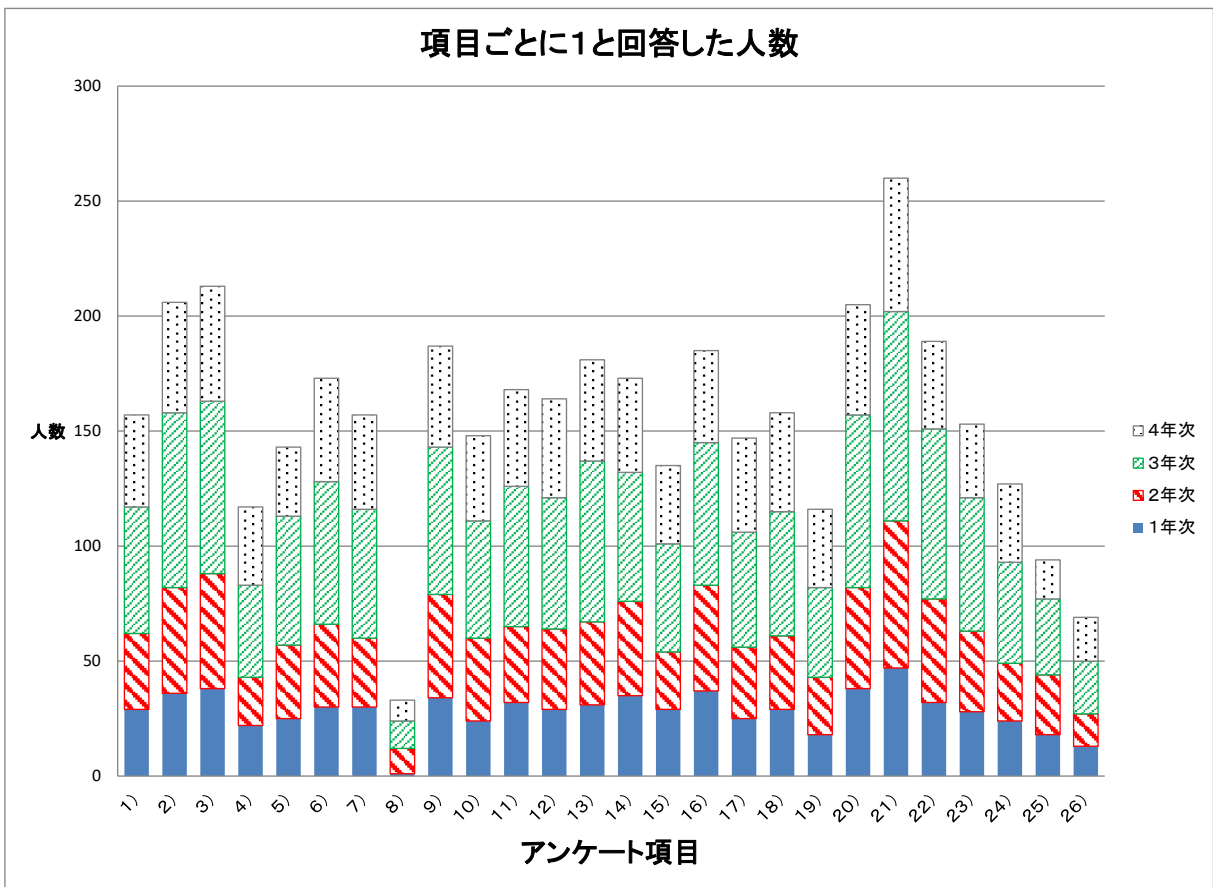
集計人数 全体数(275) 1年次(48) 2年次(67) 3年次(97) 4年次(63)

(生徒) R4.1実施

1: 当てはまる 2: やや当てはまる 3: あまり当てはまらない 4: 当てはまらない

数字は1と回答した実人数。

項目	アンケートの内容	1年次	2年次	3年次	4年次	全体比 (%)
1)	この学校では社会のルールや日常生活のマナーが大切にされている。	29	33	55	40	57.1%
2)	学校生活について分からないことがあれば、先生は気軽に相談に応じてくれる。	36	46	76	48	74.9%
3)	学校生活上の先生からの指導は理解できる。	38	50	75	50	77.5%
4)	卒業後の進路決定について、自分に必要な情報が提供されている。	22	21	40	34	42.5%
5)	通信制での学習によって、自ら学び自ら考える姿勢が身についた。	25	32	56	30	52.0%
6)	学習に対する自分の努力は正しく評価されている。	30	36	62	45	62.9%
7)	スクーリングに出席すると、大切な点がよく分かり自分の学習の助けになる。	30	30	56	41	57.1%
8)	放送視聴したことがある。放送視聴は自分の学習を進めるうえで有効な手段である。	1	11	12	9	12.0%
9)	通信制課程でのスクーリングの受け方・レポートの提出方法等の学習の進め方が分かりやすく示されている。	34	45	64	44	68.0%
10)	添削指導は分かりやすくされているので、それを読めば自分一人では理解できなかった点もよく理解できる。	24	36	51	37	53.8%
11)	各回のレポートの学習範囲と設問の仕方は適当である。	32	33	61	42	61.1%
12)	各科目は基礎基本が大切にされていて、学習して実力がつく。	29	35	57	43	59.6%
13)	無理なく学習できるよう、計画的な科目選択ができる。	31	36	70	44	65.8%
14)	自分の関心のある科目を選ぶことができる。	35	41	56	41	62.9%
15)	各回のスクーリングの時間割は出席しやすくなっている。	29	25	47	34	49.1%
16)	前期後期制をとっているため、単位が修得しやすい。	37	46	62	40	67.3%
17)	学校行事はみんなが楽しめるように工夫されている。	25	31	50	41	53.5%
18)	学校の施設・設備はきちんと点検され、壊れたところは適切に整備されている。	29	32	54	43	57.5%
19)	学習室にある図書は自分が学習するときに役に立っている。	18	25	39	34	42.2%
20)	郵送物や掲示物などの情報提供は適切である。	38	44	75	48	74.5%
21)	自分で学校のホームページを見るための環境(パソコンや携帯)が整っている。	47	64	91	58	94.5%
22)	ホームページは学校生活に役立っている。	32	45	74	38	68.7%
23)	ホームページの「科目の部屋」を、各教科の学習を進めるために活用したい。	28	35	58	32	55.6%
24)	生徒たちは学校行事で積極的に活動している。	24	25	44	34	46.2%
25)	あなたは学校行事に積極的に参加している。	18	26	33	17	34.2%
26)	各部活動の活動内容や成績などについて知っている。	13	14	23	19	25.1%



令和3年度学校評価生徒アンケートへの協力ありがとうございました。集計結果と生徒のみなさんへの回答は次のとおりです。

学校自己評価委員会

アンケートの各項目に、1：当てはまると回答した人数についての結果は、学校ホームページに掲載しています。

教務課

非常に多くの生徒みなさんが、通信制という課程のなかで、とても前向きに学習に取り組んでいることがあらためてよくわかりました。自由記述欄に書いてくれた事柄についても教職員で情報共有しました。生徒みなさんが自己管理能力を高め、自学自習が進むよう、これからも学校全体で支援を進めていきます。

生徒課

項目1)「この学校では社会のルールや日常生活のマナーが大切にされている。」で94%の肯定的な回答がありました。一方で、校内喫煙、ゴミのポイ捨てなどが見られ、嫌な思いをした人がいたのが残念です。お互いに気持ちよく学校生活を送れるようにご協力をお願いします。また、生徒会行事では生徒会執行部がアイデアを出し合って企画・運営をしています。みなさんもぜひ参加してみてください。

進路指導課

進路に関するいろいろな回答、ありがとうございました。年度初めに郵送する「進路の手引」で、進学や就職に向けてどう考え、行動していけばいいのかを示しています。ぜひ進路を考える上での参考にしてください。(令和4年度版(5月頃配付予定)からは先輩たちの「合格体験記」が載っています。ぜひ読んでください。)

卒業後の進路決定の参考になる情報は、学習室前・職員室前の進路指導課掲示板や、操山通信などの郵送物に同封する「進路ニュース」でお知らせしています。必要な情報が足りない場合は、自主活動の時間を中心に行われている年次の先生との面談などで聞いてみてください。その他の情報をお知らせしたり、調べ方について伝えたりできると思います。皆さんが自分で進路について調べ始めることと、先生が皆さんにいろいろなアドバイスをすることがタイミングよく進行できればよいと考えています。また、卒業予定者で就職を希望する人は、5月1日(日)の進路HR後にある就職ガイダンスにぜひ参加しましょう。

特別活動委員会

貴重なご意見ありがとうございました。特別活動の各期の計画については、操山通信第1号(前期)と第3号(後期)に一覧を掲載しています。また、来年度からこれまでの行事に加えて「校外研修」という新行事が追加されます。興味のある人は、是非参加してみてください。

教育相談室

教育相談室では、安心して高校生活を送れるよう、皆さんをサポートしていきたいと思います。「相談室」の部屋はありませんが、気軽に声をかけてください。また、次年度も年6回以上、スクールカウンセラーによる思春期サポート事業を行います。ご利用ください。

ICT室

皆さんの回答を参考にホームページの内容の充実を図っていききたいと思います。HPの「生徒専用」ページには、『操山通信』、『学習サポートブック』、『学習の手引』、『科目の部屋』など様々な情報が掲載されています。情報を得るための様々な方法を用意していますので便利に活用してください。これ以外にも載せて欲しい情報があれば遠慮なく意見を寄せてください。Google Workspace for Educationのアカウントはもう登録しているでしょうか。来年度から学習状況の閲覧は学校PCではできなくなります。ぜひアカウントを登録して自分の学習状況を確認できるようにしておいてください。

いじめ対策委員会

自分の言動で、相手がどのように思うかをよく考えましょう。特に自分が意図しない、ネットの書き込みやスクーリングの日の言動により、思いがけないトラブルも起こるので、十分に配慮しましょう。困っている人、困っている人を見かけた人は教員に声をかけてください。

事務室

学校の施設・設備の整備については、皆さんが快適に学校生活を送ることができるよう努めていきます。学習環境において、不備やお困りのことがあれば教えてください。